

先端技術を活用した人材育成支援コーディネーター業務委託仕様書

○委託業務の目的

情報科学高校において、学校と企業・団体等との教育活動を支援する体制を構築・管理マネジメントを行い、先端技術人材を育成するためのカリキュラム開発支援を行う。

1 業務場所

- (1) 大分県立情報科学高等学校
- (2) その他指定する場所

2 業務内容

(1) 関係者の連絡調整業務

情報科学高校において、先端技術を活用した人材育成を行うにあたり必要な下記関係者との連絡調整を行う。

①情報科学高校教職員

②大分県教育庁

(ア) 高校教育課 (イ) 教育DX推進課

(ウ) その他業務を行う上で必要な所属・担当者

③大分県

(ア) 先端技術挑戦課

(イ) その他業務を行う上で必要な所属・担当者

④おおいたA Iテクノロジーセンター

⑤企業等

(ア) 学びの交流拠点

(イ) その他県内外の企業、団体、個人等

(2) 学校で先端技術人材を育成するためのカリキュラム実施および検討支援業務

R7年度のカリキュラム実施の支援を行うと共に、経過の調査・分析を行い、R8年度のカリキュラムを検討する支援を行う。

①R7年度のカリキュラム（授業内容）

(ア) 授業時間：1年・2年 各18時間、3年 105時間 程度

(イ) 必須の授業内容

- ・A I（生成A I）、プログラミング（Python）、IoT、ソリューション開発等を活用した課題研究および総合的な探究の時間の支援

(ウ) 各内容の取組について支援を行う

- ・学校、企業等と打ち合わせし調整する

②R 8年度のカリキュラム検討支援

(ア) 検討内容（詳細は学校等と打ち合わせし決定していく）

- ・新規授業等の検討
- ・起業家精神の向上を目的としたカリキュラムの検討

(イ) 学校、関係者等との会議・打ち合わせの企画・調整

- ・学校と打ち合わせを行い、必要に応じて研修やアドバイザーの招聘を企画すること

(3) 外部講師招聘に係る業務

学校の人材育成を支援するために必要な外部講師を招聘する。

①年間3～4回程度

②遠隔会議アプリ等を利用した遠隔講演等も検討すること

(海外との通信も検討する)

(4) その他

①実施計画書を作成すること。

②月に2回程度学校訪問し、状況確認すること。

3 本業務の従事者に求める条件

過去3年以上、大分県内県立高校において、県内外のIT関連企業と連携した授業づくりのコーディネートをした経験があること。

4 委託成果物

(1) 「R 7年度実施とR 8年度に向けた検討案の作成」に係る報告書

- ・各種打ち合わせ記録
- ・各種アンケート・意識調査及び分析等
- ・次年度業務への提案等

(2) 外部講師による講義資料等（可能であれば講演風景の写真等）